

形成外科

1 体制

スタッフ：

| | | |
|----|-----|-------|
| 鈴木 | 義久 | 部長 |
| 石川 | 奈美子 | 副部長 |
| 齊藤 | 晋 | 副部長 |
| 田中 | 麗沙 | 医員 |
| 石田 | 泰久 | 医員 |
| 今川 | 侑子 | レジデント |
| 鈴木 | 京子 | 非常勤 |
| 太田 | 正佳 | 研究員 |
| 齊藤 | 福樹 | 研究員 |
| 西田 | 英高 | 研究員 |

診療体制

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|-------|---------|---------|---------|---------|------|---|
| 朝 | 抄読会 | | | | | | |
| 午前 | 一般外来 | 一般外来/手術 | 一般外来/手術 | 一般外来/手術 | 一般外来 | 一般外来 | |
| 午後 | 手術 | 美容外来/手術 | 美容外来/手術 | 美容外来/手術 | 回診 | | |
| 夕方 | 研究報告会 | | | | カンファレンス | | |

特徴

唇裂口蓋裂、多指症合指症などの先天性奇形
口唇裂手術、口蓋裂手術、顎裂部骨移植術、外鼻形成術、拇指多指症手術、合指症手術、
先天性耳瘻孔郭清術等が実施された。

眼瞼下垂症

患者数が多く手術まで10ヶ月待ちとなり何らかの改善処置が必要と考えられた。

乳房再建

乳腺外科と共同で乳がん術後変形に対する乳房再建が行なわれているが、本年度はシリコンインプラントによる再建を希望される方が大部分をしめるようになった。

血管腫・太田母斑・蒙古斑

主にレーザーを用いて治療が実施された。巨大母斑に対しては組織拡張器を用いた手術も実施された。

血管腫に対してはV-ビームレーザー治療が健康保険で行えるようになった。

再建外科

耳鼻咽喉科と共同で舌癌、咽頭癌の術後再建が行なわれている。

脳神経外科と共同で頭蓋形成も行った。

下肢静脈瘤

超音波エコーで弁不全を検査し治療を例年通り行なった。新しく V-ビームレーザーが導入され、細かい血管の浮き出しの治療も実施することができるようになった。

美容外来

シミ、小じわの治療、脱毛治療などを例年通り行なわれた。あたらしく色素レーザーの V-ビームレーザーが導入され赤ら顔や下肢静脈瘤のレーザー治療を開始した。

手の外傷の治療

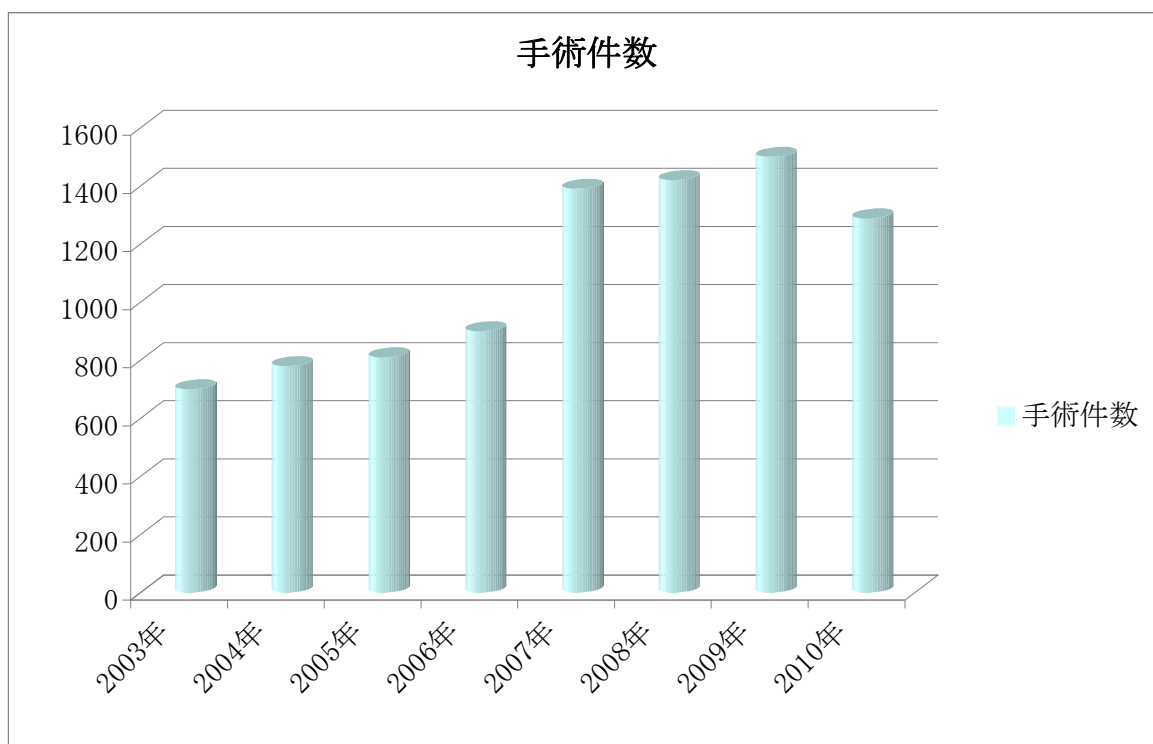
切断指は木・金・土の 20 時まで対応した。腱剥離、腱移行などの治療も例年通り行なわれた。

糖尿病性下肢皮膚潰瘍、ASO による下肢皮膚潰瘍

高齢化に伴い患者数は増加傾向であった。まず保存的治療を行なうが、治癒が困難な場合外科的治療も行なう方針は特に変更しなかった。持続吸引による VAC 治療も実施された。

2 診療実績

- ・ 一日平均外来患者数 39.8 人
- ・ 平均在院日数 10.4 日
- ・ 手術数（レーザー、I²PL 等を除く）



3 研究実績

- ・ 科学研究費採択状況
 - 文部科学省基盤研究B： 研究代表者 鈴木 義久
 - 文部科学省基盤研究C： 研究代表者 石川奈美子
- ・ 以下の医師主導型臨床試験が実施された。

急性期脊髄損傷に対する骨髄間室細胞を用いた脊髄再生治療

人工神経を用いた末梢神経再生治療

b-FGF を用いた皮膚難治性潰瘍の治療

・ 学会発表

1. 第2回日本下肢救済足病学会学術集会 2010/4/24-25 下肢血行再建術の既往のある患者の大切断の治療経験：武田孝輔，齊藤晋.
2. 第2回日本下肢救済足病学会学術集会 2010/4/24-25 糖尿病患者の足趾手術後に誘導される前足部変形の予後についての検討：齊藤晋，武田孝輔.
3. 7th Triennial International Hand and Wrist Biomechanics Symposium, Cleveland, Ohio, USA. 2010/6/20-23 Detection of Biomechanics of the Volar Plate of the Proximal Interphalangeal Joint using Ultrasonography. Susumu Saito, M.D., Proceedings:
4. 第95回日本形成外科学会関西支部学術集会 2010/7/11 受傷後52時間で血行再建を行った切断指の治療経験：今川侑子，齊藤晋，石田泰久，田中麗沙，鈴木義久.
5. 第95回日本形成外科学会関西支部学術集会 2010/7/11 非結核性抗酸菌による下肢潰瘍の1例：田中麗沙，齊藤晋，今川侑子，石田泰久，鈴木義久.
6. 第38回大阪形成外科臨床会. 2010/8/27 急性骨髄性白血病患者に生じた皮膚ムコール症の1例：石田泰久，齊藤晋，今川侑子，田中麗沙，鈴木義久.
7. 第19回日本形成外科学会基礎学術集会 2010/9/17 bFGF徐放化アルギン酸ゲルを用いたラット脊髄の再生：鈴木義久
8. 第19回日本形成外科学会基礎学術集会 2010/9/17 下腿潰瘍に対するbFGF含有へパリン共有結合型アルギン酸ゲルスポンジの臨床応用：田中麗沙，齊藤晋，今川侑子，鈴木義久.
9. 第28回中部手外科研究会（パネルディスカッション） 2011/1/29 Dynamic ultrasonographyによるPIP関節掌側板の運動生理の解析～掌側板はもち上がりながら移動する：齊藤晋.
10. 第97回日本形成外科学会関西支部学術集会 2011/3/12 爪甲色素線条の4症例：田中麗沙，齊藤晋，今川侑子，鈴木義久.

・ 論文

1. Schwannomatosis affecting all three major nerves in the same upper extremity: S Saito, Y Suzuki. J Hand Surg Eur Vol September 2010 35: 592-594,
2. 頚椎椎弓形成術後のMRSA深部感染に対する陰圧吸引療法と僧帽筋皮弁による治療経験：齊藤晋，鈴木義久. 脊椎脊髄ジャーナル 23 (10) :965-970、2010
3. PIP関節掌側板の運動—掌側板の形態を動的に：齊藤晋，鈴木義久，武田孝輔，日本手の外科学会誌 26巻6号 501-504 2010
4. 糖尿病足における深部感染後の骨欠損に対するスぺーサーおよび血管柄付き腸骨移植を用いた再建：齊藤晋，田中麗沙，鈴木義久，日本マイクロサージャリー学会会誌，Vol. 23 (2), 166-7, 2010.
5. Biomechanics of the volar pate of the proximal interphalangeal joint: A dynamic ultrasonographic study ": S Saito and Y Suzuk.i J Hand Surg Am Volume 36, Issue 2 , Pages 265-271, February 2011